

## 令和7年度 保健体育科「保健」シラバス

単位数	1 単位	学科・学年・学級	全学科 2年 A・B・C組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

### 1 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・定期考査</li> <li>・プリント、課題の内容・提出状況</li> </ul>
		2 思春期と健康	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。	
		3 性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。	
5		4 妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。	
		5 避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。</li> <li>・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。</li> </ul>	
6		6 結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。	
		7 中高年期と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。	
7		期末考査 答案返却		
9	生涯を通じる健康	8 働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・定期考査</li> <li>・プリント、課題の内容・提出状況</li> </ul>
		9 労働災害と健康	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。	
		10 健康的な職業生活	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。	
10	健康を支える環境づくり	1 大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・定期考査</li> <li>・プリント、課題の内容・提出状況</li> </ul>
		2 水質汚濁、土壌汚染と健康	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。	
		3 環境と健康にかかわる対策	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。	
11		4 ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。</li> <li>・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を</li> </ul>	

1 2		5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 期末考査 答案返却	説明できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。	
1	健康を支える環境づくり	7 保健サービスとその活用	・保健行政の役割について例をあげて説明できる。	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査 ・プリント、課題の内容 ・提出状況
2		8 医療サービスとその活用	・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。	
3		9 医療品の制度とその活用	・医薬品の正しい使用方法について説明できる。	
		10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加 期末考査 答案返却	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。	

### 3 評価の観点

知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。 評価項目（授業態度・発問評価・定期考査・プリント、課題の内容・提出状況等）
--

### 5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間、1時間の授業を大切に集中して授業を受けることが大切です。</li> <li>・授業で先生の「説明を聞く」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められます。</li> <li>・教科書と保健体育ノートは毎時間必ず準備してください。</li> <li>・授業はチャイムと同時に始まりますので、休み時間中に授業に必要なものを準備して着席を完了してください。</li> </ul>
---